

医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第35号

(H28/5/6)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。
今年度もどうぞよろしくお願いいたします。うららかな春の陽気がこちいいですね。
先日京都に都をどりを見に行きました。東山あたりの古びた商店街を歩いていると、周りの店と同じくらいの敷地の建物が「ゲストハウス」に変身して、観光客向けの京都らしい宿になっていました。祇園～高台寺あたりは日本人よりも外国人の数が多く、ゲストハウスがどんどん増えていくのも納得だな～と思いました。大津の隣の街なのにすっかり遠くの観光地まで行った気分になって、リフレッシュできました。
今年のゴールデンウィークはみなさんどこにお出かけされましたでしょうか？

第45回ワーキング会議(4/21) 滋賀県庁 北新館5A会議室

初参加 15名を含む 45名で行いました。
榎本先生の講演を聞いて、どう感じましたか？

課題を解決するのではなく、目的達成するという考え方が印象に残った。	課題はまずは一つでも二つでも解決すればいいという考え方に安心した。	まずは目的・ゴールを共有する。	病院勤務で課題を押し付けられていた。目的を共有するという考えで気持ちが楽になった。
-----------------------------------	-----------------------------------	-----------------	---



来た人をどうするかという医療をしていたことに気付いた。	ごめんねの言葉が伝わった。「ありがとう」の言葉に強い力があることを感じた。	高齢者が増える事を喜べる街づくりをめざしたい。	目的を持つことで意識も変わること気付いた。
座らされている人ではなく座りに来る人を作る。	仕事をやらされているという意識の人の力を引き出す	目的を共有し、達成していく過程が大切	「ありがとう」と言ってくれることを増やす事が365日安心した医療介護だと思う。

目的を明確にすることが大切


病気になるでも、元気でいても、いくつになっても[ありがとう]と言われた人の役に立っていたいという思いがある。これからは高齢者が「ありがとう」と言ってもらえる活躍できる地域づくりが必要。

お薬手帳には薬の情報だけではなく担当ケアマネの氏名が誰とかが載っていてもいいかと思う

榎本先生の話に目から鱗という思いをされた方、まだまだもっと聞きたいという声もたくさん聞きました。総会でもお話しいただく予定ですので皆様是非ご参加ください！！

次第

☆あいさつ・報告・連絡事項
☆「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」
28年度の活動について




☆情報提供
「こんにちは！滋賀県医療福祉推進アドバイザーになりました榎本です～私のこれまでとこれから～」
講師：榎本真幸
(滋賀県医療福祉アドバイザー)

☆グループワーク
榎本先生の講演を聞いて感じたこと
+
今年度のWGでとりあげたいテーマ
メディアミックス(普及啓発事業)でやってみたいこと
11月のフォーラムでやってみたいこと

今後のワーキンググループ会議の予定


5月26日(木) 18:30～
草津市まちづくりセンター309 会議室

テーマ
「(仮)権利擁護支援について
～ネット懇しがより話題提供～」



平成28年度
医療福祉・在宅看取りの地域創造会議
総会

平成28年8月27日(土)
13:30～17:00(予定)
ピアザ淡海



滋賀の医療福祉福祉を守り育てる
県民フォーラム

平成28年11月26日(土)
13:00～17:00(予定)
ピアザ淡海

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議
運営事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内) 貝沼・橋本
TEL:077-528-3581
FAX:077-528-4851
E-mail:info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

